

① 千葉市下田都市農業交流センター（下田農業ふれあい館）を活用した地域活性化に関する研究

1. 研究組織

研究代表者： 柳田純子 （東京情報大学・准教授）

研究分担者： 櫻井尚子 （東京情報大学・教授）

安岡広志 （東京情報大学・准教授）

担 当 部 局： 千葉市経済農政局農政部 農業経営支援課 グリーンビレッジ推進班

2. プロジェクトの目的

本学の教育理念に沿って、学生のアイデアを地域社会のなかで具現化することを志向した学生研究活動を推進する。2013 年度から引き続き、千葉市が所有する千葉市若葉区の下田都市農業交流センター（下田農業ふれあい館）の活性化に取り組む。今年度は2014・2015 年度開発のプリン（商品名：野菜たっぷりん）に続く第2弾、健康志向の軽食としての野菜ケーキを開発し、「地域の農産物を活用した商品開発」をシリーズ化する。経営学・マーケティング分野の知識およびデータサイエンスを応用して、商品企画の具体化および商品パッケージの視覚的デザインの具体化を図る。

3. プロジェクトの実施内容

本プロジェクトで実施する研究課題は以下の通りである。

1) 商品企画の具体化・地域連携による課題解決型学習の有効性の検証

柳田・櫻井両研究室の学生が協働し、情報技術や経営学・マーケティング分野の知識を活用して、地域の旬野菜を素材とする新商品を開発する。現代社会の都市住民が不足しがちな野菜摂取を促進する健康志向の商品を具現化し、連携先の集客向上・活性化を図る。

また地域連携による課題解決型学習を通じた知識の運用および主体的学びに関する研究の一環として、商品開発目標への達成状況、学生の専門的・汎用的能力の発揮状況に関して、学習の事前～事後の過程で定量・定性データを収集し、学習の有効性を検証する。

2) 商品パッケージの視覚的デザインの具体化

安岡研究室の学生がパッケージの試作、販売促進用ポスターなどの視覚効果の検討を複数回行うことを通して、様々なデザイン案を絞り込む。消費者のパッケージデザイン嗜好の分析・考察を行う。またデザイン製作過程で発生した課題の抽出から最終段階の解決に至るまでプロセスを再検討し、振り返り学習に活かす。

4. プロジェクトの成果

上記の課題を柳田・櫻井・安岡研究室で実施し以下の成果を上げた。

プロジェクトちば&四街道

1) 旬の地場野菜を活用した共同商品開発「ベジタ棒」の完成と販売開始

柳田・櫻井研究室の学生が前期・後期で各3種、計6種（そら豆・トマト・キャベツ・かぼちゃ・ねぎ・小松菜）の商品を具現化した。各商品の完成判断に至る過程では、参画学生が少人数チームを編成し、複数回の試作実施、定量・定性情報の分析・検討を行った。データサイエンスの観点から、大学教職員やオープンキャンパス来場者への試作品の官能評価を適宜実施し、その分析結果を商品完成に活用することができた。また、調査データの分析結果報告書を9月20日付で千葉市宛に提出している。

完成品は2016年10月の大学祭・下田農業ふれあい館周年祭にて同時発売した。発売に際して、安岡研究室学生からパッケージデザインの提供を受けた。2017年度3月末までの販売累計実績は、6種類で計229本である。順調に販売を継続しており、連携先のオリジナル商品第2弾として貢献した。

2) 千葉市の広報活動への協力

市側からの依頼により、2016年10月2日放映のちばテレビ番組において、「野菜たっぷりん」および「ベジタ棒」の開発経緯、商品特徴などの解説を柳田・櫻井両名が行い、広報活動の一環として寄与した。

3) 地域の自然環境や農作物への理解促進

NPO法人ちば里山センター理事長、金親博榮氏を講師として招聘し、柳田・櫻井研究室学生に対して、里山の自然保全、自然環境の教育効果などに関する講演会を2016年11月25日に実施した。聴講後に学生はレポートを作成し、それに基づく質疑応答および地域食材を使用したピザ作りを金親氏が運営する谷当工房にて2017年1月20日に実施した。上記を通じて、学生の地域環境や食材についての理解が深まった。

4) 課題解決型学習の有効性の検証

野菜たっぷりんの開発に関わった学生のキャリア発達面での成果を検証し、下記論文にまとめ発刊した。

柳田純子, 「ボトムアップ型の課題解決型学習」の有効性の検証, 社会環境論究, 第9号, pp. 15-32, 社会環境学会, 2017年1月.

5) 千葉市大学市長賞の受賞

千葉市における地域貢献への寄与により、2017年3月25日の学位記授与式において千葉市大学市長賞を学生（小林優希）が受賞した。3月3日に市役所における熊谷市長と受賞学生との昼食会に出席し、千葉大学ほかの受賞学生と本学受賞学生が交流した。その様子は大学ホームページに掲載され広報の一環となった。

以上